

電気自動車用急速充電器 設置店舗数 流通・小売業界 No.1
2023年度約 220店の充電器を新型に順次入れ替え
～お客さまの利便性向上 充電時間の短縮・充電待ちの解消へ～

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：細見研介）は、株式会社 e-Mobility Power（本社：東京都港区、代表取締役社長：四ツ柳尚子）と共同で、ファミリーマート店舗に現在設置されている電気自動車用急速充電器を 100kW 級や 50kW 級の高出力な機器に入れ替え、お客さまの利便性向上に繋げてまいります。

2023年1月24日（火）よりサービス開始するファミリーマート千葉大宮インター店（千葉県千葉市）を皮切りに2023年度は約220店に新型急速充電器の設置を予定しており、2025年度を目途に入れ替え完了を予定しております。

■ 国内の電気自動車における市場背景について

国内の電気自動車（EV・PHV）の普及台数は、現在約33万台（2021年3月末実績）であるものの、日本政府が2021年6月に公表した「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」においては、「遅くとも2035年までに、乗用車新車販売で電動車100%を実現できるよう包括的な措置を講じる。」と記載されており、政府のカーボンニュートラル政策実施に伴い、更なる普及加速が見込まれています。

一方、充電インフラについては、「充電設備の不足は、電気自動車普及の妨げとなる。急速充電設備を3万基設置し、遅くとも2030年までにガソリン車並みの利便性を実現するよう、強力に整備を進める。」とされるなど、加速度的な電気自動車の普及と充電インフラの拡大が後押しされております。

■ 高出力な急速充電器導入により、お客さまの利便性向上や低炭素社会の実現に寄与

ファミリーマートは、2010年より地域のインフラ拠点として店舗への急速充電器の設置を進めており、流通・小売業界 No.1 として全国約700店舗に設置しております。

現在 20kW 級が中心の急速充電器は、このたびの両社の取り組みにより、50kW～100kW 級へと高出力化され、充電ニーズの高い店舗には充電口の数従来からの1口から2口に増やした2台同時充電が可能な新型の機種が設置されます。通信プロトコルは、世界標準規格 OCPP に対応しており、簡易な不具合であれば、保守スタッフの駆けつけを待つことなく、遠隔からの操作で復旧させることが可能です。

より短時間で充電でき、充電口数も増加した機器に入れ替えることにより、お客さまの充電待ちの解消に繋がってまいります。

ファミリーマートと e-Mobility Power の両社は、高出力な急速充電器設置店舗の拡充をより一層進め、利便性の高い充電サービスを提供することにより、電気自動車の普及推進を行い、地球温暖化防止や地域貢献に寄与する環境にやさしい社会づくりへの協力をするとともに、低炭素社会の実現に貢献してまいります。

<ファミリーマート千葉大宮インター店にて運用開始する急速充電器の概要>

機器概要：CHAdeMO 規格

通信プロトコル 世界標準規格 OCPP

(Open Charge Point Protocol)

デルタ電子株式会社製

100kW (1口あたりの最大出力 90kW) /基

2台同時充電可能

※実際の充電出力は、車両側の充電指令値などによって変動します。

※50kW以上の出力は、最大15分間です。

営業時間：24時間

設置充電店舗：ファミリーマート千葉大宮インター店

(住所：千葉市若葉区大宮町 2119-1)

利用料金：

<充電カードをお持ちの方>

下記マークの充電カードに対応



e-Mobility Power 発行の充電カードの場合

プラン名	月会費【税込】	都度利用料金【税込】
急速充電プラン	4,180円/月	16.50円/分
急速・普通充電プラン	4,620円/月	16.50円/分

※充電カードを新規に発行する際に、登録手数料1,540円が必要です。

<充電カードをお持ちでない方>

ビジター利用が可能

ご利用時間	ご利用料金【税込】
ご利用時間 1～5分まで	275円
以降 1分あたり	55円



以上